

県立広島病院 実習シラバス

皮膚科

【一般目標】

臨床医として必要な最低限の皮膚科的知識を身につけ、患者およびその家族から皮膚に関する訴えを聞き取り、実際の皮膚病変から診断と治療に必要な情報を収集して他の医療スタッフに伝える力を習得する。

【行動目標】

- 1) スムーズなコミュニケーションを通じて患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 患者および家族との面談により皮膚科診療に必要な情報を取捨選択して収集し、指導医に伝えるために整理できる。
- 3) 発疹学に基づいて皮疹を表現し、その鑑別診断を挙げることができる。そのために必要な知識を、成書や文献を利用して自ら学ぶことができる。
- 4) 収集した情報を基に、POMR（問題志向型診療記録）を作成し、要約できる。
- 5) 医療チームの役割分担と連携、責任体制を理解し、チームの一員として行動できる。
- 6) 医療チームの一員として、適切な身だしなみで、挨拶などの声かけをする。

【注意事項】

- 1) 積極的な姿勢で実習を行うこと。
- 2) すすんで挨拶、返事をする。遅刻しない。
- 3) チームの一員として行動する。自己判断だけで行動せず、指導医に連絡、相談する。

【実習の内容】

- 1) 毎朝 **8:45** に皮膚科外来に集合する。ここでブリーフィングを行い、入院患者の状態、治療方針についてミニカンファレンスを行う。また1日の仕事内容を確認する。
- 2) 午前中は病棟患者の処置、記録、指示出しなどの病棟業務を行う。病棟業務が終わり次第、外来診療の見学と外来処置を行う。
- 3) 常時指導医と行動を共にする。具体的な診療内容は、逐一指導医の指示を仰ぐ。

【週間スケジュール】

	午前	午後	
月	病棟処置 → 外来見学・処置	検査	
火	病棟処置 → 手術	手術	
水	病棟処置 → 外来見学・処置	検査 褥瘡回診 病棟カンファレンス	病理カンファレンス 写真カンファレンス
木	病棟処置 → 外来見学・処置	検査	
金	病棟処置 → 外来見学・処置	検査	

【評価】（配点計は 100 点）

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	50
指導医による学生の医学知識の評価	25
カンファレンスでのプレゼンテーション	25